

平成 27 年 9 月 24 日

東京女子医大糖尿病内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ
-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] インスリン療法にてコントロール不良の 2 型糖尿病患者に対する持効型溶解インスリンとリキシセナチド併用療法の有用性と効果に影響を与える因子の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院第三内科

[研究責任者]

◎ 内潟 安子 東京女子医科大学第三内科学・教授・講座主任

[研究の目的]

持効型溶解インスリンと GLP-1 受容体作動薬の併用療法はインスリン強化療法と比較し注射回数の減少、体重増加をきたすことなく良好な血糖コントロールが達成できることが海外から報告されていますが、本邦での実臨床における報告は少なく、インスリン療法にて血糖コントロール不良の 2 型糖尿病患者を対象に、持効型溶解インスリンとリキシセナチドの併用療法に変更した際の有用性と効果に影響を与える因子を検討いたします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2 型糖尿病の患者さんで、平成 26 年 2 月から平成 27 年 1 月の間にインスリン加療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、罹病期間、来院時身長、体重、前治療の内容、リキシセナチド開始前後の検査結果と自己測定血糖値、リキシセナチド非投与の場合も同観察時期の検査結果と自己測定血糖値、リキシセナチド開始前後の症状変化

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡
ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院第三内科 担当医師 伊藤 新

電話 03-3353-8111